

# 蜂に刺されたら

## 【はじめに】

- ミツバチ・アシナガバチ・スズメバチは蜂アレルギーの原因となることがあります。
- 毎年 10-20 人の方が亡くなっています。

## 【症状】

- 約 15 分以内に症状が出てきます。まず赤く腫れて、熱をもって痛みや痒みが出てきます。
- 1 時間くらいしてから吐き気や腹痛・蕁麻疹・息苦しさなどの全身症状が出る場合もあり、殆どは 48 時間以内に改善します。
- 2 回目以降の 20% にじんま疹・嘔吐・浮腫・呼吸困難などの全身アナフィラキシー反応を示し、2% に意識障害や血圧低下などの生命にかかわる重篤な症状を引き起こします。
- 蜂刺傷によって全身症状が出た方は、50-60% で前回症状より重症化します。

## 【緊急対応および治療】

- 刺されたら流水で洗い流し、ハチの毒を薄めるようにするといいです。口で吸い取るのは危険なので行わないでください。
- ミツバチは針を残していくので、可能ならピンセットでつまみ取るようにしましょう。
- 局所の冷却は有効です。

## 【検査】

- 刺されてから 4 週以降に血液検査を行い、ハチに対する抗体が出来ていないか確認します。
- 抗体が陰性でもアナフィラキシーショックを起こす可能性があることに注意が必要。
- 抗体価は時間の経過とともに低下していきます。よって 2 回目の蜂刺までの期間は長い方がアレルギー反応も弱くなるので、1 度刺されたら 2 回目は注意することが大切。

## 【治療とエピペンについて】

- 原則、蜂刺傷で全身症状がなく、抗体が陰性の方以外はアナフィラキシーの可能性があり、エピペン（携帯型アドレナリン自己注射製剤）を所持した方がいいと考えられています。
- 一般的には抗体価が高い、全身症状があった、アナフィラキシーの既往歴がある方はエピペンの所持をお勧めします。